

①取組主体

名称 : 岡山市立福浜小学校  
山本 二郎  
担当窓口 : 堀田 (福浜小学校教頭)  
住所 岡山県岡山市福富東1-1-1  
電話 086-262-0145  
山本 二郎 (デンドロビウム育種家)  
住所 岡山県岡山市

団体等の種類 : 学校

構成員数 : 1, 072人 (全校児童数)

活動内容を紹介するHP、情報誌等の有無 : 無

②連携している団体等の有無 : 無

③取組地域 岡山県岡山市

④取組開始時期・経緯 (動機含む)

5年前、日本を代表するデンドロビウム育種家山本氏のお孫さんが小学校入学をきっかけとして、小学生に洋ランを育てることで花づくりの楽しさ、ランの美しさを知って欲しいということで洋ラン (デンドロビウム) づくりを小学校に提案し開始した。

⑤目的 (目標)

洋ランを育てることで花づくりの楽しさ、ランの美しさを知ることで情緒豊かな子供たちに育ててほしい。

⑥参加者数・属性推移

毎年、小学校5学年 約170名  
(5クラス)



⑦経費

山本氏負担 (経費は不明)

⑧具体的な取組内容

- 1 山本氏が5～6月にデンドロビウム（洋ラン）の苗を提供し、毎年5学年の子供たちが一人一鉢、ランの花が咲くまで育てている。
- 2 毎年2月末～3月初に総合学習の発表会を行っている。校内洋ラン展として多目的教室に展示し全校生徒に見てもらっている。
- 3 卒業式では会場をデンドロビウム（洋ラン）で飾り、父兄や関係者にも見てもらっている。
- 4 また、総合学習の発表会を4年生に聞いてもらい、次年度取り組みの準備をしている。
- 5 2月末～3月初に花を咲かせるために、山本氏のハウスに一時預かってもらい花を咲かせている。
- 6 毎年の取り組みとして地域で好評である。
- 7 卒業式後、子供たちは家に持ち帰り家庭でも話しが弾んでいる。

⑨これまでの成果（参加者の反応を含む）

- 1 子供たちは、花を栽培する楽しみを知ると同時に心がなごんでいるようだ。
- 2 子供たちは、「私の花」「僕の花」と達成感と満足感も持つことができています。

⑩今後の構想、課題  
毎年、継続予定



⑪その他

- 別添1：年間計画書
- 別添2：写真（取組の様子）

## 「蘭を育てよう」(いきいきタイム5年)

実施時期5月～3月(合計35時間程度)

### 1.ねらい

- 季節による育て方の違いを調べたり聞いたりしながら、自分の蘭を育てることができる。(課題解決力)
- 蘭に対する愛情の深さや物作りに関わる人の工夫や努力を感じながら山本さんや山本直家の人と交流する。(人間関係力)
- 蘭について調べて分かったことや世話をしている様子を絵や文などにして地域の人に紹介する。(情報活用力)
- 花のある暮らしが生活をいやすことに気づき日常生活でも生き物や植物を大切にすること。(生き方)

### 2.単元構想

週	時	児童の活動	教師の支援	月
問題をつかむ場	1	・昨年の5年のコンベックス蘭の写真やビデオをみる。	(年度始めに年間計画について山本さんと職員で見通しが持てるように話し合いをする)	4
	2	・昨午育てた蘭を観察する。	・コンベックスの蘭の様子をビデオや写真に撮り児童にみせる。	5
	3		・昨年の作品を山本さんから渡してもらおう。	
	4	・山本さんの話を聞く。	・絵に描いたり、観察でわかったことを言葉にあらわしたりして、表現方法を工夫できるようにする。	
	5		・児童の課題別の意図につながるような内容の話をしてもらおうにする。	
自分の蘭を育て花を咲かせよう。				
問題を解決する場	6	・1年の蘭の農事暦を作る。	・一年度の世話の仕方をおおまかに理解し、農事暦に書き込むようにする。	5
	7	・春の世話の仕方調べる。	・資料より春の世話について調べ、学習カードにまとめる。(水やり、肥料、日光など)	
	8	・山本さんから蘭の苗を渡してもらい、世話の仕方調べる。	・水やりは2日に一回程度、寒冷紗で遮光する、肥料は適宜(苗をもらう前に施肥済み)、病気、害虫などについて話を聞く。	6
	9	・観察記録を書く。(5月)(月に1回程度3月まで続ける)	・新芽の様子を中心に記録をする。そのときしている世話についても記録をしていく。(水やり2日1回)	
	10	・観察記録を書く。(6月)	・新芽の様子を中心に記録をする。そのときしている世話についても記録をしていく。(水やり2日1回)	7
	11	・観察記録を書く。(7月)	・新芽の様子を中心に記録をする。そのときしている世話についても記録をしていく。(水やり2日1回)	
	12	・夏の世話の仕方調べる。	・資料より夏の世話について調べ、学習カードにまとめる。(水やり、肥料、日光など)	8
	13	・山本さんから夏の世話について話を聞き作業をする。	・水やりは控え込み材料(鹿子藪)が適していたらする。(2日に一回程度が基本だが、多くてもかまわない)	
	14		・固形の肥料をやる。 ・鉢かえ。(根を成長させる)	

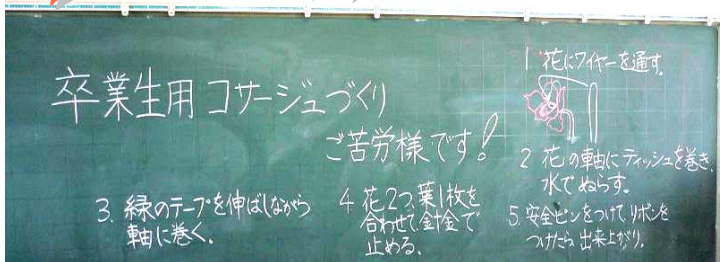
51

週	時	児童の活動	教師の支援	月
問題をつかむ場	15	・観察記録を書く。(9月)	・夏休みは北館南側に置く。寒冷紗は山本さんにお願ひした。水やりは児童でなく、5年担任で(2日に1回程度)(お盆の近辺は日直にお願ひした。)鉢替え。	7 8
	16	・秋の世話の仕方調べる。	・新芽の様子を中心に記録をする。そのときしている世話についても記録をしていく。	9
	17	・山本さんから秋の世話について話を聞き作業をする。	・資料より秋の世話について調べ、学習カードにまとめる。(水やり、肥料、日光など)	10
	18		・支柱を立てる。水やり3～4日に1度程度。	
	19	・観察記録を書く。(10月)	・新芽の様子を中心に記録をする。そのときしている世話についても記録をしていく。	10
	20	・観察記録を書く。(11月)	・新芽の様子を中心に記録をする。そのときしている世話についても記録をしていく。	11
	21	・観察記録を書く。(12月)	・新芽の様子を中心に記録をする。そのときしている世話についても記録をしていく。	12
	22	・冬の世話の仕方調べる。	・資料より春の世話について調べ、学習カードにまとめる。(水やり、肥料、日光など)	1
	23	・山本さんから冬の世話について話を聞き作業をする。	・寒冷紗をはずし、室内にひける。水やり10日に1度。夜は寒さから守るためカーテンを開ける。花芽がつき始める。	
	24	・観察記録を書く。(1月)	・新芽の様子を中心に記録をする。そのときしている世話についても記録をしていく。(花芽やつばみを中心に)	1
25	・観察記録を書く。(2月)	・新芽の様子を中心に記録をする。そのときしている世話についても記録をしていく。(花芽やつばみを中心に)	2	
26	・観察記録を書く。(3月)	・新芽の様子を中心に記録をする。そのときしている世話についても記録をしていく。(花芽やつばみを中心に)		
27	・観察記録を書く。(4月)	・新芽の様子を中心に記録をする。そのときしている世話についても記録をしていく。(花芽やつばみを中心に)	3	
28	・観察記録を書く。(5月)	・新芽の様子を中心に記録をする。そのときしている世話についても記録をしていく。(花芽やつばみを中心に)		
働きかける場	35	・蘭の展覧会をする(3月15、16日) 於：第1多目的教室	・地域の人、山本さん、他の学年の児童を招待して、展覧会をする。 ・4年生に育て方を伝えたり、展覧会にきてくれた方に自分たちの育てた蘭のことについて説明をしたりすることができるようにする。 ・卒業式に展示する。生育状況により、加温の必要を検討する。	3



# 卒業生用コサージュづくり

H19.3.18.(日)



みなさんありがとうございました。